

ひよこ

愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体 バレーボール競技リハーサル大会



六月十七日から十九日に第六十九回四国高等学校バレーボール選手権大会が開催されました。この大会では、来年開催される「愛顔つなぐえひめ国体バレーボール競技」のリハーサルも兼て行われました。

この日は、各民泊協力が抽選で決まったチームを応援。白熱した試合に皆さんも声援を送っていました。

◎父野川民泊協会

父野川民泊協力は、愛媛県四位の八幡浜高校の応援をした。館内では選手の迫力あるプレーに加え、父母、控え選手による応援に私たちは圧倒されたが、気後れすることなく一緒に応援。結果は一回戦敗退。帰りの車中、だからともなく、「一つは勝つてほしかった」の声が。「来年の本番では勝利に貢献できるように、会員一同協力して応援しよう」との声もありいい大会であった。



◎下鍵山②民泊協会

私たちのリハーサル大会は、香川県大会三位の坂出商業高校で、下鍵山②民泊協会と鬼北の里民泊協会との合同応援となり、動員数も十二名の対応で、会場までの交通手段にはあまり苦労なく対応できた。対戦相手が愛媛県大会一位の松山東雲高校・応援には少し違和感があったものの、坂出商業高校応援団のリズムに合わせ精一杯の応援をしたが、結果は初戦敗退、少し物足りないリハーサル大会であり本番に向けては不安は残るもの。大会は終了。本番では、控えテント不足、出店の事前PRなど今後改善すべきことを感じた大会でもあった。



◎日向谷・上鍵山民泊協力会

昨年、和歌山国体に行つて愛媛県チームを応援する前に、北海道チームを応援することができ、その時一セットを落としてから二・三セットと連取して勝つたのですが、その時の感動がすごく印象に残っていました。今回のリハーサル大会でも同じように高知県のチームでしたけど、一回戦から熱のはいったプレーに感動しました。

来年の国体でも同じように感動が残る様にチームの皆が精一杯のゲームができるように「おもてなし」してあげたいなと思えました。そして応援も、もつともつとチームにとけこんで一セットでも一勝でも多く勝ち残れるよう頑張りたいです。応援にかけていただいた皆様本当にお疲れ様でした。来年はもつともつと頑張りますよ！



◎下鍵山民泊協力会

一回戦で負けたら早く帰れるよね」鬼北総合公園までの道中、こんな言葉を交わしながら臨んだプレ大会。応援することとなったチームは、昨年度優勝の高知中央高校。役場職員から応援グッズを受け取ったものの、密かに持ち込んだ秘密兵器の鳴子。前日、役員の一部が飲んでいる場で「高知言うたら鳴子やろ」の一言で決まった鳴子での応援。高校の応援との打合せもなく、ホイッスル。太鼓と掛け声に戸惑い、イマイチ応援が合わない。それでもセットが終わる毎に少しずつ、合わ

せることができてきた。長い長い待ち時間の後の二回戦。「これで負けたら明日は来なくて良いんよ」と、言っていた人も確かにいたが、少しずつ応援に熱が入ってきたことも事実だった。懸命にボールを追うひたむきな選手の活き活きとした姿に、元気を分けてもらったのはむしろ我々応援団であつたことは言うまでもない。そして、二回戦も勝利する。二日目、準決勝戦。「ここまでできたら優勝やな」。二日目は参加できないと言っていた後期高齢者の方も、両手に鳴子での応援に一段と熱くなつた。五十年前の応援団長も血が騒ぐ。かくして練習試合で勝てなかつたチームに勝利し、保護者の方からお礼を言われた。迎えた決勝戦。さすがに相手チームの粘りや作戦も決勝戦にふさわしく、一進一退を繰り返して、応援も佳境に入る。鳴子と太鼓の息もピッタリ。そして最後の長いホイッスル。優勝！「あんたらの応援に負けた」と、相手チームを応援していた小西野々民泊協力会に言わしめた我がが強力な応援は、地域の強い連帯感にもなつた。何とも言い難い達成感と久しぶりの高揚感。これがスポーツの力だと思ふ。来年本番の国体までには、まだまだ多くの課題を克服しなければならぬが、地域として取り組めば大きな力になると言うことを実感した今回のプレ大会だった。地域の皆さん、選手を温かく迎え、また優勝を狙って頑張りますよ。

◎上田公民館長

日吉地区は、去年からえひめ国体に向けて、地域が一体となつて取り組んでいこうと会議等を行い、四つの民泊協力会が設立しました。

大会では、民泊協力会の応援団が、それぞれ各チームの応援団と一体となり、勝利を目指して、熱い声援を送りました。一戦一戦、手に汗握る白熱した攻防の中、得点シーンでは、思わず大声を上げたり、スティックボールを力一杯たたいたりして、喜びを全身で表現し、応援チームへの距離感が近づいていました。

日吉地区の民泊協力会では、このリハーサル大会を通して、来年の本番開催に向けて、気運が大いに高まりました。



せつき祭り& フリーマーケット

五月二十八日(土)・二十九日(日)、日吉さつきまつり実行委員会が主催する「第四十四回日吉さつき祭り」が日吉産地で開催されました。

二日ともあいにくの天候でしたが、日吉盆栽会会員が丹精込めて育てたさつきに、町内外から愛好家が訪れさつき一つ一つに見入っていました。

また、今年は明星ヶ丘いきいき会が、熊本地震の支援にと「フリーマーケット」を開催。会員が持ち寄った提供品は会員の頑張りではほぼ完売となりました。売上金全額を寄付されたそうです。



ふれあいレクバレー大会

五月二十九日(日)、農林業者トレイニングセンターで、日吉公民館主催の第十二回ふれあいレクバレー大会を開催しました。

この日は、ベテランチームや即席チーム、全八チーム七〇名が参加。試合は白熱した戦いでみんな真剣でした。しかし、珍プレーではお互いが笑顔になるなど、今年も選手間の交流・親睦が深まっていました。結果は次のとおりです。

優勝：クッキーズ
準優勝：かじかクラブ



せせらぎダンスパーティー

六月十九日(日)、鬼北スポーツダンスサークル主催の「せせらぎダンスパーティー」が日吉住民センターで開催されました。愛媛・香川・高知県からダンス愛好者八十六名と、「ダンスを見に来ませんか」との呼びかけに一般見学者十五名がダンスを楽しみました。

この日は、十五組によるデモンストレーション。特に昨年十月よりダンスを始めた二人の男性が背中に初心者マークを付け、ワルツを披露した時、来場者から暖かい拍手を受け盛大なダンスパーティーとなりました。



みどり保育所避難訓練

六月三十日(木)、土砂災害防災訓練が行われました。この訓練は、土砂災害警戒区域の要配慮者利用施設である「みどり保育所」に対するものです。

この日は、みどり保育園児が、徒歩で避難経路を確認しながら日吉支所に移動。和室で所長・保育士による防災教育が行われ、非常食の説明では実際に園児たちが試食していました。

この訓練の数日前に「土砂災害準備情報」が発令され、実際に避難してきました。



来春の座敷雛テーマは「紙漉き新之丞」!

六月十五日(水) 日吉盆栽会が来年の四万十街道ひなまつりの座敷雛に向けて、高知県の町仏ヶ峠・紙の博物館を視察しました。



仏ヶ峠で地元の方が説明をいただいているところ

日吉盆栽会 会長 森下さん

今から四〇〇年ほどの昔、日向谷出身の新之丞は、土佐の国成山村(現いの町)で土佐七色紙を作ることに成功しましたが、故郷日向谷へ帰る途中、成山村仏ヶ峠で斬殺されました。平成八年十月の町では、仏ヶ峠で新之丞

の業績を永くたたえるため、「新之丞四百年祭」が盛大に開催されました。一方、これに合わせて、新之丞の故郷である日向谷地区の人たちが中心になられて、仏ヶ峠の新之丞の御霊を分霊して、日向谷出口の国道沿いに「土佐紙祖 新之丞記念碑」を建てて安置し、新之丞の四百年目の里帰りを実現されたそうです。

来年は、新之丞の里帰り二十年目になります。日吉盆栽会では、毎年四万十街道ひな祭りに合わせて、日吉地区の風景をテーマにした座敷雛を展示していますが、来年春のテーマを「紙漉き新之丞」(仮称)として座敷雛を制作することとしました。先日は、会員が仏ヶ峠を訪れ、新之丞碑にお参りをするとともに現地の風景を視察し、地区の人とも話し合いをしてきたところです。これらのことを参考に、座敷雛に使用する紙漉きをモチーフにしたミニチュアの作成に取り掛かりました。来年の四万十街道ひなまつりでと呼応しあって、さらには里帰り二十年祭なども開催されることを期待しながら、どんな座敷雛が出来上がるのか会員一同がワクワクしながら展示に向けて活動を続けています。

「地震だ! その時どうするか?」

七月三日(日)に上鍵山婦人部のみなさんが、ダイキ(株)ゆめ・みらい住まいの創造かんで防災研修を受講しました。

この日は、南海トラフ巨大地震・防災学習DVDを三〇分ほど見た後、家具等の転落防止対策などについて学びました。

講話では、「家具等の転落による圧死は約一割を占めており、寝室のタンスの向きを変えることで圧死を防ぐことができる。寝室の家具の配置を紙に書いてみて確認してみることが大切」、「耐震補強をすることはお金がかかりますが、家具等の転落防止は金具など比較的安く、またすぐに設置することができる」との話にみなさん真剣に話を聞いていました。



スライドを見ながらの説明がわかりやすい研修でした。

上鍵山婦人部のみなさんから

上鍵山婦人部が防災研修を行いました。今すぐできる家庭防災、家具等の転倒防止対策、避難行動など、詳しい説明を受け、いつ起こるかかわからない南海トラフ巨大地震から命を守るにはどうすればよいか。個々の状況にもよりますが、自分の身は自分で守る事、自分が無事なら、家族・友人・隣人を助けることができる、あらためて勉強させられました。また、地区にいても集まる機会の少ない中での参加者、昼食時間や車中往復では短いながら会員の親睦にもつながったのではないかと思っています。

初めて「ぼうさい耐震ひろば」に行きましたが、DVDで、自分の普段見慣れた町(宇和島や松山)が津波にのまれるCGを見て、かなり衝撃を感じました。鬼北町では津波の被害はないですが、普段からの備えが大事だと思います。再度、家の中を見直すいい機会になりました。いざというときは、婦人部で力を合わせて頑張るためにも、普段からの仲間づくりが大事だと思います。



第32回 武左衛門ふる里まつり



日 時:平成28年8月14日(日) 午後6時から
場 所:日吉夢産地
(雨天は農林業者トレーニングセンター)

今年も子供たちがダンスをふる里まつりで披露するため毎週金曜日に練習を行っています。

今年は、パンプアップダンススクールのケイト先生の指導を受けながらちょっと難しいダンスに挑戦中です。本番でうまく踊ることができるか不安もありますが、子供たちは水泳・部活の練習や勉強で大変な中、一生懸命に汗をかきながら練習を行っています。子供たちのダンスをぜひ会場でご観覧ご声援お願いします。



盆踊り練習について			
区 分	練 習 日	時 間	場 所
練 習	8月9日(火)、10日(水)	午後 7時30分	農林業者トレーニングセンター
総練習	8月12日(金)		日吉夢産地

14日のタイムスケジュール		
時 間	催 し 物	場 所
午後6時	武左衛門行列、盆踊り連出発	武左衛門広場
15分	ふるまい酒の接待	JA日吉支所前
25分	行列到着後、武左衛門太鼓	日吉夢産地
40分	訴状言上、あいさつ	
50分	盆踊り(第1部)	
7時20分	北宇和高校吹奏楽部演奏	
45分	盆踊り(第2部)	
8時15分	子どもダンスパフォーマンス	
35分	盆踊り(第3部)	
9時	花火打ち上げ	



上大野分館 うんどうかい

6月12日(日)、上大野地区の運動会が開催されました。あいにくの天候で、運動会は農林業者トレーニングセンターで、レクバレー大会に変更となり、4チームによるリーグ戦で行われました。写真を撮っているとYシャツにスラックスの選手が・・・なんと日吉支所長が区長組長会終了後に参戦！真剣にプレーされていました。試合はみなさん、いい汗を流しながら笑顔で交流を深められていました。終了後は、上大野集会所で懇親会が行われ、カツオのたたき(写真左)を豪快に調理するなど、みなさん楽しい1日となりました。



カツオのたたき！薫焼きで



結果は栗下・堀切連合チームが優勝！
(このチームに日吉支所長が・・・)

新着図書案内 日吉公民館図書室に新しい本が加わりました。



真実の10メートル手前



老いも病も受け入れよう



希望荘



匿名交叉



帰郷

今後の行事予定

8月	14日	日	日吉地区成人式	場所：日吉住民センター
	21日	日	せせらぎ魚っちゃんぐ	場所：節安ふれあいの森
	24日	水	六地藏奉納相撲大会	場所：武左衛門広場
9月	8日	木	日吉地区敬老行事	
	18日	日	日吉っ子合同運動会	

運動不足にならないようにと始めたクアテルメ宝泉坊のプール歩き。三日坊主の自分が一年半も続けている。いつまで続くのか

編集後記

日吉の人口

6月末人口
1,381人
男 655人
女 726人
693世帯



日吉地区のための「日吉夢基金」

日吉地区の地域振興基金にご寄付をお願いします。

ご寄付のお礼

宮本清繁様(下鍵山)、渡邊妙子様(下鍵山)からご寄付をいただきました。ありがとうございました。今年度の事業に活用させていただきます。